

教育に関する事務の管理及び  
執行状況の点検及び評価  
－ 平成23年度の実績 －

白鷹町教育委員会

## 目 次

1. 点検評価の目的等について .....	1
2. 教育委員会開催実績 .....	3
3. 予算の体系 .....	4
4. 点検評価表 .....	5
① 学校教育係 .....	5
② 学校給食共同調理場 .....	6
③ 生涯学習係 .....	8
④ 文化振興係 .....	1 2
⑤ 生涯スポーツ係 .....	1 5

教育委員会制度は、市町村長から独立した機関であり、合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育事務を執行するものです。

平成20年4月に、教育委員会の組織や運営に関し、基本的事項を定めている地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、毎年各自治体の教育委員会は、その教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果を議会に報告し及び公表することになりました。

このような状況を踏まえ、白鷹町教育委員会では、本町における教育行政事務の点検・評価を以下のとおり実施しました。

## 1. 目的

本町教育行政事務の実施状況について、課題や今後の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図っていくため、教育委員会の事務事業の点検・評価を行う。

また、その結果を町議会に報告し、及び公表することにより、町民への説明責任を果たす。

## 2. 方法

点検・評価は、白鷹町教育行政一般方針を踏まえ、点検・評価は毎年度1回実施するものとし、前年度の主要な取り組み・重点的な取り組みの実施状況を点検するとともに、課題や今後の方向性等を示すものとする。

今回は、平成23年度に行った主要な事務事業(当初予算の概要で示した事業)についてそれぞれ点検・評価を行った。

### ※評価の視点

<b>必要性</b> → (役割分担、町が実施すべきものか。時代ニーズ・町民ニーズを踏まえているか等の視点) 【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】
<b>費用対効果</b> → (運営方法、コストに見合った効率的な活動等を行ったか等の視点) 【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】
<b>有効性</b> → (施策を実現する手段・利用者に偏りはないか、成果や効果の把握等の視点) 【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】
<b>方向性</b> → (今後の方向性) 【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 ー:完了】

## 参 考

〈地方教育行政の組織及び運営に関する法律〉

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○平成23年度 教育委員会開催実績（議題）

委員会開催日	議 案	
4月26日	13	地区公民館長の解任の専決処分の承認について
	14	地区公民館長の任命について
	15	白鷹町図書館協議会委員の任命について
	16	白鷹町障がい児就学指導委員会委員の委嘱について
	17	白鷹町青少年育成推進員の委嘱について
	18	白鷹町スポーツ振興基金運営委員会委員の委嘱について
	19	白鷹町競技力向上対策委員会委員の委嘱について
	20	白鷹町体育指導委員の委嘱について
	21	白鷹町教育委員会事務局職員の処分について
	22	白鷹町教育委員会事務局職員の処分について
5月31日	23	白鷹町立小・中学校学校評議員の委嘱について
	24	白鷹町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
6月29日	25	白鷹町立図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
	26	白鷹町教育委員会非常勤嘱託職員取扱規程の廃止について
	27	通学区域外就学について
7月29日	28	平成24年度使用教科用図書採択について
8月24日	29	白鷹町中学校再編整備基本方針について
9月28日	30	白鷹町教育委員会委員長職務代理者の指定について
	31	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
12月7日	32	白鷹町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
	33	白鷹町体育指導委員に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	34	白鷹町スポーツ振興基金運営委員会規則の一部を改正する規則の制定について
2月20日	1	平成24年度白鷹町教育行政一般方針について
	2	平成24年度白鷹町一般会計予算のうち教育費に関する予算の意見聴取について
3月9日	3	平成24年度教職員人事異動の内申について
	4	平成24年度白鷹町教育委員会事務局職員の人事異動方針について
	5	白鷹町生涯学習振興計画について
	6	白鷹町立小学校通学区域外就学について
3月23日	7	地区公民館長の任命について
	8	白鷹町立図書館長の任命について
	9	白鷹町立小・中学校、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
	10	白鷹町教育相談員の委嘱について
	11	白鷹町スポーツ推進委員の委嘱について
	12	平成24年度白鷹町教育委員会事務局職員人事異動の内申について

※その他、協議会、学校訪問、各学校行事、研修会等の参加があります。

○予算の体系と主な取り組み

「学び、集い、笑顔かがやく白鷹人」の育成

1. 学校教育の充実

---

- 1. 地域に根ざした、心かよう白鷹の学校づくり
- 2. 知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成
- 3. 共に白鷹の子どもたちを育てる連携教育の推進

2. 生涯学習の推進

---

- 1. 「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり
- 2. 「住民主体の公民館活動」を充実し、かかわりが深まる地域づくり
- 3. 生涯学習環境の整備による学びの意欲づくり

3. 芸術文化の振興

---

- 1. 歴史的文化的資産の保存活用による誇れる郷土づくり
- 2. 町史編纂事業
- 3. 文化団体の育成・支援による心通わせる人づくり
- 4. 文化を介した交流、未来にはばたく人づくり
- 5. 利用しやすい図書館づくり

4. 生涯スポーツの推進

---

- 1. 健康・生活スポーツの環境整備に努め、心豊かになる人づくり
- 2. スポーツ団体・関係機関の連携による競技スポーツの推進と指導者づくり
- 3. 安心・安全なスポーツ環境づくり

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 1. 学校教育の充実

中項目 1. 地域に根ざした、心かよう白鷹の学校づくり

係名 学校教育係

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用 効果対	有効 性	方向 性	改善点/課題等
1	東中学校体育館地震補強事業	耐震診断の結果を踏まえ、早急に補強工事を施工しなげればならない。東中学校の屋内体育館の耐震化工事を実施し、生徒の安全安心を確保する。屋根・壁ブレース等の増設による補強を行い安全性が高まった。	18,375	4	4	4	-	*残る校舎についても引き続き耐震工事を実施する必要がある。 *統合整備と併せて授業に影響のないように施工する必要がある。
2	スクールバス運行管理 等費	全町的にスクールバスを運行し、児童・生徒の通学の利便性と安全性を確保する。通学6路線分の運行と学校行事や中体連等にも積極的に活用する。東根地区の児童生徒の路線バスの定期代も全額負担する。 部活動や熊出没・豪雪対策等にも柔軟に対応でした。	29,969	4	3	4	A	*停留所も児童生徒の変動にも対応できた。 *住民混乗便は1日の乗客が少なく、検討が必要。
3	特色ある学校経営推進 事業	地域の学校という位置づけのもと、総合的な学習を通してスポーツ・環境・福祉・農業・キャリア教育など各校の特性をもった体験学習等を行う。総合学習や職場体験などの実施に成果があった。	1,200	3	4	3	A	*事業内容が経常化・固定化しており、検討が必要。
4	教育研究所運営事業	教職員相互の調査研究等を行い、教育経営や授業等の実践向上を図る。事業内容の精査を行い、専門部や委員会活動の充実を図るとともに、個人研究の奨励等を行う。全教職員が参加して研究・研修で成果が出ている。	989	4	4	4	A	
5	地域学校安全指導員配 置事業	スクールガードリーダーを1名配置。通学路の点検・確認、巡回パトロール、見守り隊への指導・助言などを行う。1名を配置した、通学時の安全指導に役立った。	247	3	4	3	A	*県の補助事業で実施しているが、対象日数が限られているため、拡充が求められている。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 -:完了】

大項目 1. 学校教育の充実

中項目 2. 知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

係名 学校教育係

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	学校生活支援員設置事業	発達障がい等により授業や集団生活等に適応できない児童生徒の対応や習熟度別学習にも対応するため、全体で7名を配置する。 各学校の事情に応じて学習指導や不登校児童生徒の対応などきめ細かな対応ができた。	10,602	4	4	4	A	*県の非常勤講師との同様に becoming よう待遇改善
2	教育相談事業	教育相談委員2名を委嘱。不登校児童生徒の対応のため八乙女教室の開催や学校・家庭訪問等の教育相談、学校担当者との教育相談定例会を実施する。 八乙女教室での不登校児童への対応や各校の教育相談に対応できた。	724	4	4	4	A	
3	英語指導助手 (AL) 設置事業	小・中学校の英語学習の充実と英語に触れる機会を増やすため英語指導助手を配置する。事務の効率化から民間業者に委託。 生の英語に触れることで慣れ親しみ、英語への興味・関心が増した。	4,673	4	4	4	A	・町学校教育研究所の外国語活動委員会点検評価している。
6	要保護及び準要保護児童援助費	経済的に困難な状況にある世帯の児童生徒について学用品費や修学旅行費・給食費など就学援助を行う。 延べ47名について就学支援を行った。	4,292	4	4	4	A	・事務手続きのマニュアル整備を行った。

係名 学校給食共同調理場

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点/課題等
7	共同調理場設備整備事業	昭和57年建設の学校給食共同調理場の改修工事。給水管、給湯管、排水管の改修を実施したことにより、より安全・安心な学校給食を提供できるようになった。	10,195	4	4	4	-	老朽化による調理場の計画的な更新 衛生管理基準の対応への検討

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】  
費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】  
有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】  
方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 -:完了】



白鷹町教育委員会事務局の点検評価表

大項目 1. 学校教育の充実

中項目 3. 共に白鷹の子どもたちを育てる連携教育の推進

係名 学校教育係

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用 効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	小中連携推進事業	中学校進学に伴う生活面や学習面の課題の解消に向け、小学校と中学校が連携し、子どもたちが安心して学習できる環境整備と学力の定着・向上を図る。 児童生徒の発達課題に対する研修を行い円滑な接続への学習指導等を学んだ。	50	4	4	3	A	*小・中学校間で、特別に支援が必要な児童などの情報共有や情報交換を密に行う必要がある。 *研究授業の事前・事後研究会に参加できる体制等、学力向上に関わる取り組みを年間計画に組み込むことも必要。
2	荒砥高等学校活性化事業	荒砥高校の入学者の増加を目指すため、中学校との連携強化や魅力ある学校づくりのため支援を行う。 荒砥高校の魅力向上のため、地域に関連した事業や上級学校見学等の経費軽減を図った。	300	3	3	3	A	*事業の周知を行うなど広報が必要。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 ー:完了】

大項目 2. 生涯学習の推進

中項目 1. 「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり

係名 生涯学習係

事業No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点／課題等
1	成人式開催事業	白鷹町の将来を担う青年の、二十歳の節目を町をあげて祝い、大人としての自覚を促し、積極的な町づくりへの参画に繋げる。今年では202名を対象。実行委員会を組織することで、成人者が自主的に成人式・成人祭に関わることができた。今後も実行委員会での開催を継続していきたい。	377	3	4	4	A	受け付けから開会までスムーズに展開されるよう時間厳守、受付の効率的な業務に努める。
2	白鷹学講座開催事業	地域の社会力や文化力の向上、自ら学び考え、問題を解決する力を養うため、子どもから大人まで生涯各期にわたる学習機会、生涯学習の場の提供を図ること。①不破央講演会7/26、②田勢康弘講演会、③地域の歴史民俗学講座「高岡編」9/4、④大人のための社会科見学12/13、⑤小室等トーク&ライブ1/21、⑥おすぎのシネマトーク3/2 計年6回参加者延べ603人	901	4	3	4	B	参加者の満足度は、おおむね好評評価であった。ただし、参加者数の目標は達成できず、町民への周知方法や20代、30代が興味を持つプログラムを研究する必要がある。
3	家庭教育推進事業	家庭での教育が重要であることを考慮し、家庭の教育力向上を目指すもの。1.就学時健診や入学説明会等を利用し、保護者に子どもとの関わり、事例を交えた講演で、保護者には有効な学習機会となった。2.郷土料理教室参加者数の目標値が30名になっているが、調理室定員は20名。それに対し21名の参加者となった。郷土料理を作り、食すことで改めて食文化の大切さを感じてもらえた。3.株式会社ニコニさんにて開催。	150	3	4	4	A	限られた時間のため、グループワーク等の広がりを持たせることができない。また親だけでなく、祖父母にも同様の機会がほしい。就学児健診や入学説明会だけでなく、PTA研修会等でも利用できる旨、学校への依頼・連絡調整を図る。
4	学校支援地域本部事業	学校に「地域コーディネーター」を設置し、コーディネーターを中心にボランティアの取りまとめなどを行わないが地域全体で学校支援を支援する体制の構築を目指している。昨年度からは国県補助事業となり、取り組みを「西中学校区」として蚕桑・鮎貝の小学校にも広げている。本事業に取り組んだことにより、これまでなかなか取り組むことのできなかつた分野である学習環境の整備など、環境面で大きな成果を上げていると共に、ボランティア活動を通して地域と学校の融合・連携の深まりが感じられる。	972	3	3	3	A	いかに地域住民の方にボランティアとして協力してもらえるかが課題。事業が地域に浸透するような周知が必要である。また、ボランティアを組織化することで、小学校とも連携した事業へとする取り組みも行っていきたい。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 -:完了】

白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 2. 生涯学習の推進

中項目 1. 「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり

係名 生涯学習係

事業No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額(千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点/課題等
5	小中学生交流事業	青少年育成町民会議に事業を委託。初年度の今年は、小中学生を対象とし、参加者を公募しながら、金峰少年自然の家を会場に交流プログラムを実施する。参加者数は定員の約半数だったが、1泊2日という短い期間でも豊富な交流プログラムを行うことにより、充実した交流事業を実施することができた。	78	3	3	3	B	震災の影響があり、当初の計画内容を変更して開催したため、準備期間が短くPR不足となってしまった。開催時期やPR方法について再検討する必要がある。
6	成績優秀者激励金交付事業	町内在住の小中高校生の一層の活躍と将来の白鷹町を担う人材としての健全な成長を期待するもの。文化・芸術、スポーツ等の分野で、全国レベルの優秀な成績を収めたときに、町から激励金を交付。個人10,000円 団体1人あたり10,000円(上限5万円)文化部門 15人 スポーツ部門 15人に奨励金を交付した。	225	3	3	3	A	以前は、スポーツ部門のみスポーツ振興基金からの交付であったが、この事業により初めて文化部門で活躍する児童生徒を称賛することができた。今後も継続して実施すべきものである。尚、大学生や一般にも拡大してほしいとの要望があり検討が必要。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 ー:完了】

大項目 2. 生涯学習の推進

中項目 2. 「住民主体の公民館活動」を充実し、かかわりが深まる地域づくり

係名 生涯学習係

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	協働のまちづくり交付金	住民による主体的な公民館運営を目的に、生涯学習の実践の場となる地区公民館の管理や事業費として交付する。この交付金により、講座や教室など特色ある事業の実施や分館活動の事業助成を行っている。地域づくり事業として公民館まつり、新春交流会、研究会が各公民館で開催され、運営委員・分館長・書記等が積極的に関わり、地域づくりの拠点としての活動が行われた。また、各世代を対象とした講座が開催され、学びの機会の提供が積極的に行われた。	19,955	4	3	3	B	それぞれの地区公民館において、それぞれ個別の課題があり、情報の共有を図りながら課題解決に向けていく必要がある。また、町長部局において地区公民館のコミュニティセンター化が計画されており、生涯教育の拠点としてスムーズな移行が必要である。
2	放課後子どもプラン推進事業	子ども達が地域社会の中で心豊かですこやかに育まれる環境づくりを推進し、安全、安心な活動拠点(居場所)づくりとして、小学校施設や公民館施設等を活用し、地域の方々の協力を得て「放課後子ども教室」を実施し、スポーツや文化活動、地域住民との交流活動を行うことを目的としている。23年度も、蚕桑と鷹山小学校を対象とし、それぞれ地区公民館に事業を委託して実施した。	1,126	3	3	3	A	蚕桑と鷹山以外の地区での取り組みについて、検討する。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 -:完了】

白鷹町教育委員会事務局の点検評価表

大項目 2. 生涯学習の推進

中項目 2. 「住民主体の公民館活動」を充実し、かかわりが深まる地域づくり

係名 生涯学習係

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用 効果	有効 性	方向 性	改善点/課題等
1	分館施設整備補助事業	「地区公民館分館施設整備費補助金交付規程」に基づき、総事業費10万円以上の事業に対し、次の補助率を基準に予算の範囲内で補助金を交付。 補助率等 新築:30%以内(限度額300万円) 増・改築、修繕:30%以内(限度額30万円) 備品購入等:20%以内(限度額10万円) 実施分館 17分館 補助金の額 2,639,000円 内容 屋根塗装、トイレ改修、畳替え、外壁改修等	2,639	4	4	4	A	2年目となり、周知が図られ17件の申請があった。今後も継続して実施していく必要がある。
2	中央公民館費	中央公民館の維持管理費及び運営費 住民の自主的な学習活動の場として、施設の利用しやすい環境づくりに努めることができた。また、震災の影響もあり、燃料費や光熱水費などの施設管理費を前年比マイナス12%に抑えることができた。	13,392	4	4	4	A	施設が老朽化し、修繕箇所が年々増加している状況のなかで、いかに安全性を確保し、適切に施設を管理していただけるかが今後の課題である。 現在、図書館を含めた整備計画を検討中である。
3	荒砥地区公民館敷地 整備工事	荒砥地区公民館と老人福祉センターの間の広場について、雨等によりドロドロになる状況にあったため、鮎貝小学校グランド整備工事の残土を敷いた。それに伴い、側溝の敷設及び通路の舗装を実施した。 側溝敷設工事 延長45m 道路舗装工事 87㎡	1,650	4	4	3	-	適正に工事が完了した。今後も、適正管理に努め計画的に施設の維持工事を実施する。
4	指定管理施設整備事業	平成3年度建設の「白鷹町鮎貝ふれあい広場」の屋根塗装を実施した。 なお、鮎貝駅前分館(鮎貝ふれあい広場に併設)で実施する屋根塗装と合わせての実施した。 また、車止め及び転落防止柵の改修を実施した。	827	4	4	4	-	適正に工事が完了した。今後も、適正管理に努め計画的に施設の維持工事を実施する。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 -:完了】

## 大項目 3. 芸術文化の振興

## 係名 文化振興係

## 中項目 1. 歴史的文化的資産の保存活用による誇れる郷土づくり

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対 効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	文化財保護対策費	指定文化財(国1・県6・町34)の保護活用と管理を行う。文化財保護審議会を2回開催、文化財に関する検討、力モシ力の死体処理や保護対策を実施。国指定文化財は国や県と、県指定文化財は県の支援を受け保護対策事業を実施。町指定文化財の保護対策事業を実施。	1,602	3	3	3	A	文化財の保護対策を実施するため、国や県などの支援が欠かせない。また、相当の地元負担を要するため、支援の拡充を求めていく必要がある。
2	文化財保護調査事業	文化財の計画的な調査と保護を行い町民の誇りである文化遺産を守り継承していく。小四王原遺跡の保護管理、樹木医による古典桜の巡回指導を実施。文化財や文化的資源は所有者や管理者から状況把握を行い良好な保存・管理に努めた。	47	4	4	4	A	祖先が守り伝えてきた文化的資源の専門的な調査を行う調査員の確保が難しい。
3	白鷹町史編さん事業	平成26年10月の町制施行60周年に合わせ、「白鷹町史・現代編」を発刊し白鷹町の歩みを後世に引き継ぐ。町史編さん室長と職員1人により史料収集整理作業を実施。編さん委員会と編集委員会を組織し事業内容の決定。執筆者を選し執筆作業を進めた。	4,193	3	4	4	A	計画的に事業が進められるよう進捗管理を行っているが、執筆者が多数で進行にばらつきが予想されるため、適切な管理が必要がある。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 -:完了】



白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 3. 芸術文化の振興

係名 文化振興係

中項目 2. 文化団体の育成・支援による心通わせ人づくり

事業No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用 効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	芸術文化振興(芸術祭)事業費	芸術の発表を通して芸術文化の振興と生きがい作りの創出を図る。町芸術文化協会との連携により、11月3日～6日まであゆ一むで開催。参加者は約2,300人。公演はおんがく祭(小・中・高校生)、芸能まつり及び謡曲。展示は写真、絵画、書道、盆栽及び生花等。町民の方に周知するためにプログラムを全戸に配布。利用者の拡大に向け中央公民館とあゆ一む間でバスの運行。芸術・文化活動を発表する貴重な機会となった。	668	3	4	4	A	芸術文化の振興のため今後とも継続した開催となるように努める。鑑賞者と出演者をいかにしたら満足させられるか、参加者の拡大に向けホールの席数や舞台の高さ・設備など開催内容の工夫に努める。
2	芸術文化鑑賞(山響演奏会)事業	町民の心の豊かさを高めるため、12月4日あゆ一むで山形交響楽団の演奏会を開催。入場者は約200人。ハーモニーコンサート実行委員会が企画から会場準備等まですべての業務を実施。交響楽を演奏するには会場は狭いが、お客様には音がとても良かったと好評だった。	830	3	4	4	A	交響曲を生演奏で聴くことが出来る貴重な機会であることから、継続した開催を目指す。入場者を確保するため、開催内容の工夫に努める。
3	伝統芸能保存伝承事業	町指定無形文化財である高玉芝居を定期的に公演し多くの人に知ってもらい、後継者育成にも努め保存・継承していく。2月11日、さくらの里文化伝承館で開催。入場者は164人。定期的な公演により多くの人に見ていただき、座員の技術習得、後継者の育成、更に地域づくりにもつながっている。	150	3	4	4	A	多くの人に鑑賞していただくためには、館内においての飲食は慎重にすべきである。現在、場内は飲食禁止にしている。
4	子ども芸術文化育成事業	町内の児童生徒が参加できる芸術文化団体の育成を図るため、白鷹町少年少女合唱団への育成支援を実施。団員は35人。練習は月3回実施。指導者と伴奏者にも恵まれ順調な歩みを始めている。子どもたちも多くの発表の場をいただき、日々成長している姿がみられる。	150	3	4	4	B	幼児から中学生まで募集しているが、中学生になると部活動などとの兼ね合いで退団してしまい小学生だけの編成となつてきている。せっかくいい声が出るようになってきた時でもあるので残念である。団員を確保するため、募集活動に努める。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 -:完了】

大項目 3. 芸術文化の振興

係名 文化振興係

中項目 3. 文化を介した交流、未来にはばたく人づくり

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	文化交流センター管理運営事業	町民自らが担い手となり創造的で多様な芸術文化活動を促進するため、白鷹町文化交流センター「あゆむ」の管理運営を指定管理者に委任する。事業企画委員会参加の自主事業として、梅津五郎氏常設展、「南川三治郎 写真展」、「あゆむ祭」及び各コンサートを実施。町芸術祭や各展示会等貸館事業の実施。利用者数等毎月の運営状況を確認した。指定管理者の努力があり、交流人口は順調に伸びてきている。交流人口の拡大のため、広報活動等により指定管理者を側面から支援を行った。	35,000	4	4	4	A	運営状況や利用者数等の把握に努め、広報活動等支援を行い、さらなる交流人口の拡大と定着を目指す。

中項目 4. 利用しやすい図書館づくり

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	読書感想文コンクール開催事業	町民各層が本に親しみ読書量の増大を目指すため、読書感想文並びに生活文のコンクールを開催する。作品集を作り学校などにも配布。学級数の減などにもよるが応募者数は51点だった。	203	3	3	4	B	物語を読んでの応募が多い、もっと科学的なものを読むなど選書の幅を広げてほしい。今年度の一般の応募者数は少なかつたが、いかにしたら増やせるかが課題である。
2	お話の会運営費	生の声で語り伝えることにより子どもの夢と豊かな心を育む。おはなしの会は白たか子どもの本研究会・荒砥高等学校の図書館部会の協力により開催。平成24年3月の開催で299回を迎えた。毎回、子どもたちの笑顔がみられた。読み聞かせ養成講座は外部講師により実施した。	82	4	4	4	A	以前は子どもたち同士が誘い合いながら参加していたが、今は保護者と一緒にの参加が多い。また、子どもたちも年中忙しそうに参加する人も少なくなっている。読み聞かせボランティアを養成するため、講習会の開催に努める。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 -:完了】



白鷹町教育委員会事務の点検評価表

大項目 4. 生涯スポーツの推進

中項目 1. 健康・生活スポーツの環境整備に努め、心豊かになる人づくり

係名 生涯スポーツ係

事業No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額(千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	第46回白鷹若鮎マラソン大会開催事業	9月18日(日)長距離選手の育成、競技力向上を目的に、日本陸連公認第7669号コースで開催。 招待選手に猫ひろし選手を招き、918名が参加。スポーツ振興くじ(toto)助成金831千円を受け実施。	1,500	3	4	4	A	* 業務委託の検討(体育協会、町陸協等に委託できれば理想だが、それぞれ職員がおらず当分は難しい。) * 開催時期の検討。(涼しい時期に)
2	町誕生57周年記念地区対抗駅伝競走大会	白鷹町誕生57周年を記念し10月9日(日)白鷹町1周コースで開催。十王地区初優勝。	426	4	4	4	A	* 各地区選手の選出に苦慮している。 * 開催時期の検討。(スポーツ行事の多い時期で、小中生の選出に苦慮している)
3	白鷹町総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	スポーツの持つ力で元気な地域、町をつくることを目的に、クラブ支援、生涯スポーツ関連事業を推進する。 ふるさと雇用交付金により職員1名を雇用した。  H21年度設立された白鷹町総合型地域スポーツクラブに対する活動補助を行う。 会員約90名、6コースの他、ウォーキング講座、夏冬キャンプを実施。	2,600	4	4	4	A	* ふるさと雇用はH22、23の2年で終了。H24からはtoto助成によりクラブマネージャー2名雇用。5年間の予定だがその後の財源が課題。 * 会員数や財源が課題。 * 年間通して毎週指導している方の負担が課題。 * どこまで活動することが理想なのかが課題である。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 -:完了】

大項目 4. 生涯スポーツの推進

中項目 2. スポーツ団体・関係機関の連携による競技スポーツの推進と指導者づくり

係名 生涯スポーツ係

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	白鷹町スポーツ振興基金事業	スポーツ振興基金運営委員会の決議に基づき、競技力向上対策事業、スポーツ団体育成、健康づくり推進事業等を実施する。	2,400	3	3	3	A	* 体育協会加盟の競技団体の寄付額の割合に応じ配分しているが、配分率が課題。(少ないところで4000円、多いところで23万)

中項目 3. 安心・安全なスポーツ環境づくり

事業 No	事業名	目的及び事業内容(成果)等	決算額 (千円)	必要性	費用対効果	有効性	方向性	改善点/課題等
1	体育施設管理	生涯スポーツ所管の施設運営管理費。スポーツ公園、紬パーク、東陽グラウンド、スキー場等。	31,794	4	4	4	A	* スキー場はリフトの改修が課題。 * 野球場、ソフト場は塗装等の修繕が必要である。 * 東陽グラウンドは駐車場の不足が課題。

必要性【1:認められない 2:余り認められない 3:認められる 4:必要不可欠】

費用対効果【1:不適切 2:やや不適切 3:概ね適切 4:適切】

有効性【1:不十分 2:やや不十分 3:概ね十分 4:十分】

方向性【A:継続して実施 B:若干の改善必要 C:縮小・大幅な見直し必要 D:廃止・中止 -:完了】